

# 自然に囲まれたショートステイ施設が着工 来春運営開始

自然豊かな田園風景や里山を生かした「サンライズ壬生ショートステイ（仮称）」の起工式が6月17日、栃木県下都賀郡壬生町上稲葉の建設現場で行われました。起工式には、多田正毅理事長ら城西病院グループ関係者、工事関係者などが出席、工事の安全と早期完成を祈願しました。

この施設は、約3100平方メートルの森が広がる自然豊かな環境で、古民家を生かした30床のショートステイ施設を建設します。古民家は江戸時代に建てられ、昭和11年に書院を建て増ししています。木造の歴史ある民家で、約410平方メートル。ショートステイはこの古民家に隣接し、鉄骨一部2階建て延べ約1160平方メートルの建物を建設。利用者はショートステイと古民家を自由に使うことができます。ショートステイは平成29年2月に完成を予定、同4月にオープンを予定しています。城西病院グループ会社の「サ

ンライズ」が運営します。

施設から約500メートル北には、栃木県が元気な森づくり里山整備事業で整備、地元の人たちで組織する「嘉陽が丘里山の会」が管理している約3万坪の広大な森林があり、男体山が一望できる豊かな自然環境いっぱいのロケーションです。

アクセスは北関東自動車道の都賀と壬生のインターチェンジのほぼ中間地点に位置し、約4キロ周辺には獨協医科大学病院、壬生町おもちゃ博物館、壬生の市街地、工業用ロボット建設メーカーのファナックが立地する「みぶ羽生田産業団地」があり、今後発展が見込まれている地域です。

起工式で大場一輝顧問は「城西病院グループの全面的なバックアップを受け、素晴らしい施設を作りたい」とあいさつしていました。

平成28年6月17日



古民家



ショートステイの施設全貌



ショートステイの建設地